

新
版

絵はがきにされた少年

藤原章生 著 発行：柏艸舎 / 発売：星雲社 巻頭カラー口絵4頁
ISBN978-4-434-28068-9 C0095 / 46判 / 並製 / 276頁 / 1,700円 (+税)

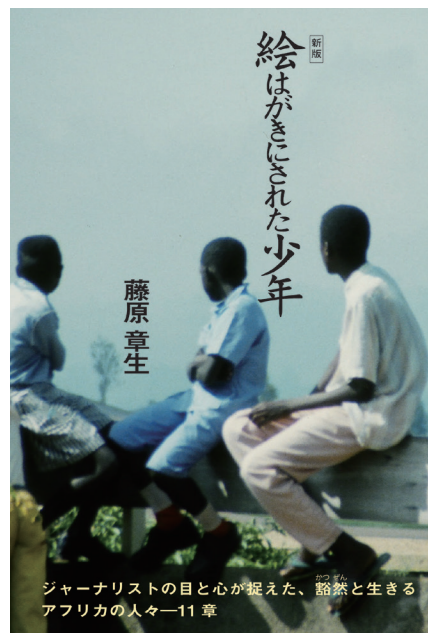
新刊委託ご注文日：10月16日
2020年10月28日発売予定

搾取や差別という言葉だけでは片づけられない
「アフリカのリアリズム」がここにある
アフリカの大地に力強く生きる人々を描く11の物語

世界中に
「Black Lives Matter 運動」が
(黒人の命を軽んじるな)
広がるいま、
アフリカ、そして黒人差別について知る
最適の書

悲惨さの脇に普通の人々の日常がある。
悲惨な風景の中でさえ、
目を凝らせば、人の幸福を考えさせる瞬間がある。
——本文より

内戦中のスーダンで撮影した「ハゲワシと少女」で
ピューリッツァー賞を受賞、その直後に自殺したカメラマン。
ルワンダ大虐殺を生き延びた老人。
アパートヘイト政策の終わりを告げる暴動。
紛争の資金源となるダイヤモンドの闇取引の商人……。
毎日新聞特派員として取材をつづける中で、著者は先入観を覆され、
アフリカの大地に力強く生きる人々にいつしか魅了されていく。



第三回
開高健ノンフィクション賞受賞作品が
新版としてよみがえる！

新版 絵はがきにされた少年 もくじ

- | | | | |
|---|--|---|------------------------------|
| 3 ガブリエル老の孤独
2 「お前は自分のことしか考えていない」
1 第三部 砂のよう、風のように
1 ゲバラが植えた種 | 4 語らない人、語られない歴史
3 混血とダイヤモンド
2 老鉱夫の勳章
1 絵はがきにされた少年 | 4 何かを所有するリスク
3 嘘と謝罪と、たったひとつの物語
2 どうして僕たち歩いているの
1 あるカメラマンの死 | 第一部 奇妙な国へようこそ
第一部 語られない言葉 |
|---|--|---|------------------------------|

FAX でのご注文はこちら

FAX
011-219-1210

TEL 011-219-1211
札幌市中央区北2条西3丁目1
タケサトビル6F
HP : <http://www.hakurosy.com/>
発行：柏艸舎 / 発売：星雲社

本作品は集英社より2005年11月、
2010年8月（文庫版）に刊行された
ものを全編にわたって改訂した新版です。

藤原章生（ふじわら・あきお）

1961年、福島県いわき市生まれ、東京育ち。北海道大工学部卒業後、エンジニアを経て89年より毎日新聞記者として長野、南アフリカ、メキシコ、イタリア、福島、東京に駐在。地誌、戦場、人物ルポルタージュ、世相、時代論を得意とする。本書で2005年、開高健ノンフィクション賞受賞。主著に「ガルシア＝マルケスに葬られた女」「ギリシャ危機の真実」「資本主義の『終わりの始まり』」「湯川博士、原爆投下を知っていたのですか」。

*自動配本はほとんどいたしません。どの取次からも納品できます。弊社書籍は返品時フリー入帳です。

書店名（番線）	新刊注文	新 版	絵はがきにされた少年	注文 数	ご担当 様	
		藤原章生 著				
		■ 46判並製 276頁（巻頭カラー口絵4頁） ■ 1,700円+税 ■ ISBN 978-4-434-28068-9 C0095				
		札幌市中央区北2条西3丁目1タケサトビル6F TEL 011-219-1211 ■発行：柏艸舎 ■発売：星雲社				
					冊	